

平成25年度「^{ふるさと}手づくり郷土賞」に
「商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり
～デイバザール、ナイトバザール、夢やたい」
の地域活動が選定されました

地域づくりに取り組む活動団体等の優れた地域活動を表彰する「手づくり郷土賞」は、今年度で28回目の開催となる国土交通大臣表彰制度です（別添資料1参照）。今年度、東北地域からは『商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり～デイバザール、ナイトバザール、夢やたい』（鶴岡山王商店街振興組合）が選定されました。

この取り組みは、20年以上続けてきたナイトバザールを発展させ、活気ある商店街を取り戻そうと、市の街路事業と合わせて、住民とまちづくりワークショップを重ねながら、ハード面の改善やソフト面を連携させることにより、賑わいを取り戻すことができた点が高く評価されたものです。

今回の選定に伴う認定証授与式を、平成26年2月21日（金）受賞地域で開催します。

東北地方の選定結果

【一般部門】地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

応募件名	商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり ～デイバザール、ナイトバザール、夢やたい（別添資料2参照）
応募団体	鶴岡山王商店街振興組合

【認定証授与式】

- ・日 時：平成26年2月21日（金）11：00～（30分程度）
- ・場 所：鶴岡市役所 3F庁議室
- ・住 所：山形県鶴岡市馬場町9-25

※授与式終了後は、現地視察（30分程度）を予定しております。

※国土交通本省においても同様に記者発表しております。

※授与式当日の取材をご希望の場合は会場の都合がありますので事前にご連絡お願い致します。

発表記者會：宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会・鶴岡記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 代表 022-225-2171
企画部 企画課 課長補佐 ^{さの}佐野 ^{ともき}智樹（内線3156）

平成25年度 手づくり郷土賞

資料1

目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

募集対象

手づくり郷土賞(大賞部門)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特に優れた内容)
- ⑦社会資本の地域への定着状況
(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)
- ⑧活動の継続状況
(規模を広げながら着実に継続している等)
- ⑨活動の発展状況
(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募することができます。

選定委員会

- | | |
|------------|---------------------------|
| 委員長： 西村 幸夫 | 東京大学先端科学技術研究センター 所長・教授 |
| 荻原 礼子 | 結 まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー |
| 齋藤 潮 | 東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授 |
| 佐々木 葉 | 早稲田大学創造理工学部 教授 |
| 田中 里沙 | 株式会社宣伝会議 取締役 編集室長 |
| 田村 美幸 | 公共の色彩を考える会 名誉会長 |
| 森反 章夫 | 東京経済大学現代法学部 教授/災害復興研究所 所長 |
| 西脇 隆俊 | 国土交通省総合政策局長 |

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/index.html>)

《一般部門》 鶴岡山王商店街振興組合 商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり ～デイバザール、ナイトバザール、夢やたい

商店街について

鶴岡市中心部に位置している「山王商店街」は、現道を拡幅する計画で都市計画決定されている地域ですが、事業が具体化するにあたり、支障となる店舗が廃業や郊外への移転を促すことになり地域の衰退につながるという懸念が生じました。そのような事態を回避し、地域の維持・活性化を図るため、まちづくりワークショップを活用し議論を重ね、現道幅員のまま整備し、車道と歩道を区別することなく道路全体を「みち広場」として活用することとした結果、支障店舗を発生させることなく、地域が一体感を保ったまま整備することができました。

整備前



歩道の幅も狭く、電柱や段差が多く

歩きにくい環境であった

整備後



無電柱化や車道を狭めて、広い歩道へ

歩行者の快適性を優先



冬期間は、積雪により

歩道を通行することができない



融雪設備により、冬でも雪のない商店街へ

冬期間のイベント開催も可能に

地域の活動について

毎週土曜日の「デイバザール」「さんのう夢やたい」では、市民や観光客で賑わう交流の場を生み出し、第3土曜日には、20年以上継続している「ナイトバザール」を実施し、商店街のみならず多くのボランティアや学生たちが会場を盛り上げています。大学、NPO、学生などと深く連携したことにより、賑わいづくりのイベントの継続性が確保されるとともに、若者の出店希望者も増え、減る一方だった商店街の店舗数が増加に転じています。各種イベントに加え、持続可能な商店街づくりに向けて、共同店舗整備事業やまちづくり協定に基づく各個店のおもてなし空間づくりの三本柱で、商店街の総合的な改善を進めています。



商店街だけでなく、市民を巻き込んでワークショップを重ね、現在の賑わいづくりに繋がっています。



多機能ボードに日常的に花を飾ったり、のぼり旗によって商店街の賑わいとおもてなしの心を演出しています。



毎週土曜日の夜に開催する「夢やたい」市民や観光客に大好評! もちろん冬もやっています。



ナイトバザールの様子
夜7時 多くの人が集まってきます。



8月に歩行者天国にして行うナイトバザールの様子
皆で踊る「おいやさ踊り」



ナイトバザールの様子
山王日枝神社境内で中学生によるプラスバンド演奏